

発行 福岡県社会福祉協議会  
子育て支援事業推進室

〒816-0804

春日市原町3-1-7 クローバープラザ6階

TEL 092-584-3785

FAX 092-584-3369

Email kosodate@fuku-shakyo.jp



子育てサロン こびとのお家(行橋市)で撮影

# みんなで作ろう 子育てサロン

子育てサロンでは、代表やスタッフのお母さんだけでたくさんの役割を抱えている状況を時々目にしますが、県内のほとんどのサロンが、参加者みんなで協力しあいながら代表やスタッフのお母さんだけに負担がかからないよう工夫しながら活動されています。

あるサロンに伺ったとき、代表のお母さんが参加者の方に、「来週、私が早く来る事が出来ないの、少しでも早く来て会場を開けてくれませんか。」と相談をされていました。すると、サロンに遊びに来ていたお母さんから「私が早く来れるので、鍵を開けて会場の準備をしますよ。」と声が上がりました。

サロンを開催するまでには、たくさんの準備や役割があります。代表やスタッフのお母さんだけで出来ないことは、参加者全員で相談、協力しながら、みんなでサロンを作っていきましょう。

(子育て支援事業推進室)

## もくじ

- 子育てサロンの知恵袋～活動の役割分担編～…………… 2
- サロンの風景(鞍手町子育てサロンくらんべりい)… 3
- こども写真館…………… 3
- 繋々ポ NEWS(登録会終了)…………… 4



## 子育てサロンの知恵袋

### ～活動の役割分担編～

子育てサロン活動は代表のお母さんだけに負担がかかってしまうことがあります。参加者の方がちょっとしたことを手伝うだけで、代表のお母さんはずいぶん楽になります。

そこで、今回はサロン活動に参加者が積極的に関わっている子育てサロンを紹介します。

## ちびっ子ザウルス (筑紫野市)

ちびっ子ザウルスは毎週金曜日の10時半から12時まで活動されています。

活動メニューはフリースペース、季節の行事、工場見学、公園遊びなどです。ちびっ子ザウルスは、3つの班を作り、イベント毎に当番制で担当を回しています。

代表の北村さんは「3年前から班を作り、活動しています。きっかけは代表だけではなく、遊びに来るお母さんたちにも積極的にサロン活動に参加して欲しいと思ったからです。イベントなどは当番の班で担当してもらうので、役員さんの負担も少なく活動出来ています。」と話してくれました。

班長さんがいることで、出欠の確認やイベントの開催がしやすいようです。また、妊娠中のお母さんには負担がかからないように役員を任せるのは避け、お母さんたちの状態に合わせて参加者同士が協力して活動されていました。



## こびとのお家 (行橋市)

こびとのお家は、毎週水曜日の10時半から14時半まで活動されています。現在、13組の親子が登録されています。

2年前から、出欠確認や活動内容の相談などはメールでやりとりされています。1つのアドレスに送信するとメンバー全員にそのメールが届くようにして、参加者みんな意見交換しながら、活動内容を決めています。

今まで、お祭り、梅酒作り、干し柿作り、プール遊び、恵方巻き作りなどをされたそうです。

代表の一好さんは「みんなでサロンで何をしたいか意見を出し合いながら、活動しています。担当をしてくれる方が進んでしてくれるので、代表としての負担は全くありません。」と話してくれました。参加されている方が、料理や工作など、自分の得意なことに積極的に手を挙げ、それぞれが役割を持つ活動をされていました。



県内のサロンでは、参加者にも積極的にサロン活動に関わってもらうため、2人組を作り、担当を回すなど工夫しながら活動されているところもありました。

サロン活動は誰も無理をせず、活動することが大切です。今回紹介した2つのサロンは、担当をしてお互いに悩みや疑問があったら、いつでも誰かに気軽に相談が出来る雰囲気がありました。身近に相談できる相手がたくさん居ることがサロンに積極的に参加してもらうことにつながっているようです。また、参加者みんながサロンに関わることで活動が活発になり、サロンに対し愛着がわき、サロン活動がさらに楽しくなっていくようでした。





# サロンの風景

## 鞍手町子育てサロン

### くらんべりい(鞍手町)

くらんべりいは昨年4月に立ち上がりました。サロンには15組の親子が参加されています。チラシを鞍手町社協や保健センターの掲示板に貼り、参加を呼びかけています。役員を5名の方がされており、1年間の活動メニューは役員の方が話し合って決められたそうです。

代表の富永さんは、「きっかけは、今まで町内にサロンがなく、親子が知り合う場所が欲しいと思ったことです。サロンを始めたところ、たくさんの親子が遊びに来てくれました。サロンに来るお母さんたちに、継続的に参加してもらうことが今後の課題です。くらんべりいが町内のお母さんたちの友達作りの場になって欲しいです。」と話されました。

また、役員をされている方は、一人で来られたお母さんが、輪に入りやすいように声かけをされていました。サロンが始まってすぐに、みんなで自己紹

介や子どもの名前・年齢を発表し、初めて来られた親子でも参加しやすいように工夫されていました。



※リトミックとは音楽に合わせて、体を動かすことで親子のスキンシップをはかるものです。



この日は、※リトミック&マッサージが開催されました。

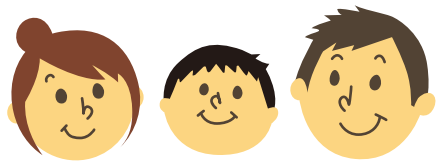


# こども写真館



お友達とたくさん遊んでね♪





## 登録会終了

福岡県社会福祉協議会では、お父さん、お母さんの仕事と子育ての両立を支援するため、**病児・緊急預かり対応基盤整備事業**に取り組んでいます。

この事業は、病気で集団保育になじまない子どもの預かりや急な残業・出張などでの宿泊を含む子どもの預かりなど、緊急時に対応するもので、大野城市・太宰府市・春日市・筑紫野市・那珂川町を対象地区としています。

先月、援助会員（子育てのお手伝いをしてくださる方）の登録研修会を開催しました。研修会では、子どもの病気、心身の発達、救命講習、子どもの遊び、コミュニケーションについてなどしっかり学習していただきました。6日間で23時間という長い研修を終え13名の方が新たに援助会員として登録されました。新会員のみなさん、これから一緒に頑張りましょう。よろしくお願いいたします。



研修会では、「子育てが一段落して、自分の時間が持てるようになったので大好きな子どものお手伝いがしたいと思って参加しました。」「自分が子育て中に周りの方々にたくさん助けてもらったのでその恩返しで参加しました。」など、参加の動機を聞かせていただきました。

**現在の会員数 443人** (1月末日現在)

依頼会員330人 援助会員100人 両方会員13人

### ふくおか緊急サポートセンター(本部)

福岡県社会福祉協議会 子育て支援事業推進室

TEL 092-584-3785 (担当 平本・大倉)

この情報誌は、共同募金の配分金を受けて発行しています。



### 大募集!

「ふくすく」に関するご意見・ご要望、子育てサロン等への取材依頼、子育てに関する様々なエピソードをお寄せください。皆さんの声をお待ちしています。

(子育て支援事業推進室)



春の暖かさが待ち遠しい季節ですね。みなさんは、先日の節分の日は豆まきをされましたか？私は、行橋市のサロンで子どもたちと一緒に豆まきをしてきました。突然現れた鬼が怖くて泣き出す子どもや、一生懸命走りながら「鬼は外 福は内」と大きな声で叫びながら鬼を追いかける子どもなど、サロンの会場一杯に子どもたちの元気な声が響きわたり、とてもにぎやかな豆まきになりました。豆まきをした後は、みんなでお昼ご飯を食べながら楽しい時間を過ごしました。

また、小郡市のサロンでは長年地域のボランティアとして活動されている方とお話をする機会がありました。「活動をしていて一番の楽しみは何ですか？」と尋ねると「子どもたちの成長を身近で感じられることが一番の楽しみです。子どもたちの元気な泣き声、笑い声が活動の源です。」と語って頂きました。私もこれまでたくさんのサロンに伺い、初めて会った時は人見知りが始まり泣いていた子どもが、次会った時はお母さんから離れ友達と追いかけて遊んでいたり、上手にお話が出来るようになっていたり、子どもたちの成長をお母さんたちと一緒に喜んできました。ボランティアさんとお話をさせてもらい、私も子どもたちからもらった、たくさんの喜びと感動をこれからも取り組んでいこうと思いました。

(ついで)